

	学習指導要領	都立科学技術高校 学カスタンダード
(1) 私たちの生きる社会	現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。	・幸福、正義、公正」などの考え方が、現代社会の諸課題を考察するための基盤であることを理解する。例えば、生命・情報・環境の問題では、自己の幸福の追求が、時として他者や他の集団、あるいは社会全体の幸福と対立することがあることを理解する。
(2) 現代社会と人間としての在り方生き方	現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。 ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。	・青年期の意義について広く理解するとともに、青年期の心理を自己に当てはめて考察し、欲求不満や葛藤などにより心の安定が脅かされた場合、自我を無意識に守る働きがあるということを理解する。また、青年期はアイデンティティの確立、将来の自己実現に向けて努力する期間であることも理解する。 ・伝統や文化と自己の行動様式との関係について考察できる。 ・ホッブズ、ロック、ルソーのそれぞれの考え方の違いを踏まえて社会契約説を理解し、民主政治における国家と個人について説明できる。 ・日本国憲法の各条文に則して、自由権、社会権、平等権などについて理解し、その具体的な内容を的確に説明できる。 ・国政選挙における衆参それぞれの仕組みを理解する。 ・我が国の平和主義について、憲法9条の内容やその意義について理解を深める。 ・日本の政治制度について、立法・司法・行政それぞれの働きについて理解する。 ・民主社会において、国民の世論が政治に大きな影響力を有していることを理解し、マス・メディアが世論形成に果たす役割について理解する。

学習指導要領	都立科学技術高校 学カスタンダード
ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。	・「法の支配」と「人の支配」、「法治主義」の違いを理解する。 ・司法制度や違憲立法審査制が、「法の支配」の実現のために重要な役割を果たしていることを理解するとともに、司法権の独立が重要であることや最高裁判所が「憲法の番人」と位置付けられる理由について説明できる。また、裁判員裁判の基本的な仕組みについて理解する。 ・資本主義と社会主義の違いについて説明できる。 ・市場（完全競争市場）の仕組みと「市場の失敗」について理解する。 ・財政の役割や問題点について説明できる。 ・金融の仕組みについて、間接金融と直接金融の違いを説明できる。また、公開市場操作による金融政策の内容を理解し、市場に流れる通貨供給量との関係を説明できる。 ・戦後の我が国の景気循環とその背景について理解し、高度経済成長を生み出した諸要因を労働力や技術進歩、「日本型経営」などの視点から説明できる。 ・日本の社会保障制度についての理解と、その問題点について説明できる。 ・現代の企業には、利潤の追求とともに、社会的責任が求められていることについて説明できる。

学習指導要領	都立科学技術高校 学カスタンダード
オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。	・ 国際法上の人権、国家主権に関する規定を理解するとともに、我が国固有の領土である北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる問題の経緯と我が国の正当な立場を理解する。 ・ 国際社会において、主権国家の利害を調整し、国際協調の推進と国際問題の解決に向けて、国際連合などの国際組織の果たす役割を具体的な事例を挙げて説明できる。 ・ 近年の国際的な民族紛争について、紛争発生の背景となる人種・民族対立について理解する。また、国際社会における文化や宗教の多様性について理解し、互いに尊重する態度を身に付けることが重要であることを知る。 ・ 国連を中心とする軍縮への取組について理解する。軍縮に向けた各条約の締結とその意義、背景について理解する。 ・ 冷戦後の国際情勢などを踏まえ、我が国の安全保障に向けた多角的な努力や、自衛隊による国連の平和維持活動への参加など、国際貢献に向けた現実の取組について、事例を挙げて説明できる。

学習指導要領		都立科学技術高校 学カスタンダード
(3) 共 に 生 き る 社 会 を 目 指 し て	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。	・持続可能な社会の形成に参画する意義を認識し、現代社会の諸課題を主体的に探究できる。「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「現役世代と将来世代の関係」などを踏まえて、現代社会の諸課題について考察できる。